

疫学・健康政策学講座

Epidemiology and Health Policy

教授	関根 道和	Michikazu Sekine
助教	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse
助教	山田 正明	Masaaki Yamada

◆ 原 著

- 1) Sekine M, Tatsuse T, Cable N, Chandola T, Marmot M. U-shaped associations between time in bed and the physical and mental functioning of Japanese civil servants: The roles of work, family, behavioral and sleep quality characteristics. *Sleep Med.* 2014 Sep; 15(9): 1122-31.
- 2) Sekine M, Tatsuse T, Cable N, Chandola T, Marmot M. Socioeconomic and gender inequalities in job dissatisfaction among Japanese civil servants: The roles of work, family and personality characteristics. *Ind Health.* 2014 Jul; 52(6): 498-511.
- 3) Hirono K, Sekine M, Shiba N, Hayashi S, Nakaoka H, Ibuki K, Saito K, Watanabe K, Ozawa S, Higuma T, Yoshimura N, Kitajima I, Ichida F. N-terminal pro-brain natriuretic peptide as a predictor of reoperation in children with surgically corrected tetralogy of Fallot. *Circ J.* 2014 Feb; 78(3): 693-700.
- 4) Lallukka T, Ferrie JE, Kivimäki M, Shipley MJ, Sekine M, Tatsuse T, Pietiläinen O, Rahkonen O, Marmot MG, Lahelma E. Conflicts between work and family life and subsequent sleep problems among employees from Finland, Britain, and Japan. *In J Med.* 2014 Apr; 21(2): 310-8.
- 5) Liu J, Sekine M, Tatsuse T, Hamanishi S, Fujimura Y, Zheng X. Family history of hypertension and the risk of overweight in Japanese children: results from the Toyama birth cohort study. *J Epidemiol.* 2014 July; 24(4): 304-11.
- 6) Fujimura Y, Sekine M, Tatsuse T. Sex differences in factors contributing to family-to-work and work-to-family conflict in Japanese civil servants. *J Occup Health.* 2014 Dec; 56(6): 485-97.

◆ 総 説

- 1) 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和. 社会経済的要因による循環器病疾患と危険因子の格差—日本・英国・フィンランドの国際共同研究から—. *日本循環器予防学会誌.* 2014 ; 49(3) : 197-205.

◆ 学会報告

- 1) Sekine M, Hamanishi S, Yamada M, Fujimura Y, Nose S, Minemura H, Tatsuse T. An Updated Review of the Toyama Birth Cohort Study, Japan. *Society for Longitudinal and Life Course Studies (SLLS) International Conference: Lives in Translation: Life Course Research and Social Policies;* 2014 Oct 9-11; Lausanne.
- 2) 立瀬剛志, 藤森純子, 新鞍真理子, 永田勝太郎, 中森義輝, 鏡森定信. 社会的 QOL 「CASP19」指標と向老期の暮し変数との関連—向老期の豊かさを支援するケアウィル研究—. 第 56 回日本老年社会科学大会; 2014 Jul 4-6; 下呂.
- 3) 立瀬剛志, 須永恭子, 藤森純子, 関根道和, 小林俊哉, 山田広明, 寺西秀豊. 地方自治体と大学の連携によるソーシャルキャピタル向上のための健康政策—その課題と展望—. 第 55 回日本社会医学会総会; 2014 Jul 12-13; 名古屋.
- 4) 藤森純子, 立瀬剛志, 永田勝太郎, 新鞍真理子, 鏡森定信. 向老期における社会的 QOL 向上を支援する介入タイミングの検証—退職期男性を対象としたケアウィルプログラム実践より—. 第 55 回日本社会医学会総会; 2014 Jul 12-13; 名古屋. (奨励賞受賞)
- 5) 小林俊哉, 立瀬剛志, 須永恭子, 山田広明. 富山県内における地域近接型ゲートキーパー養成事業の展開. 第 55 回日本社会医学会総会; 2014 Jul 12-13; 名古屋.
- 6) 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和. 高岡市内 5 小学校における生活習慣の現状—文部科学省スーパー食育スクール事業—. 第 53 回富山小児保健学会; 2014 Oct 5; 富山.
- 7) 立瀬剛志, 関根道和, 山田正明, 濱西島子, 藤村裕子, 峯村 創. 公務員における仕事満足を決める職務特性—動機づけ・衛生仮説に基づく包括的検討—. 第 73 回日本公衆衛生学会総会; 2014 Nov 5-7; 宇都宮.
- 8) 藤村裕子, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明, 濱西島子, 峯村 創, 野瀬早織. 大学附属病院における規模・地域・災害拠点指定による医薬品等の在庫管理状況の考察. 第 73 回日本公衆衛生学会; 2014 Nov 5-7; 宇都宮.

- 9) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志, 藤村裕子, 濱西島子, 峯村 創. 児における便秘の疫学調査と生活習慣との関連. 第73回日本公衆衛生学会総会; 2014 Nov 5-7; 宇都宮.
- 10) 藤森純子, 立瀬剛志, 永田勝太郎, 須永恭子. ケアウィルプランニングの実践と評価. 第30回日本ストレス学会総会; 2014 Nov 7-8; 東京.

◆ その他

- 1) 関根道和. 社会の健康づくり 10 の提言ー仕事・家庭・地域からソーシャルキャピタルまでー. 舟橋村職員講習会; 2014 Jan 15; 富山. (講演)
- 2) 関根道和. 子どもの格差・貧困を考えるー生活習慣・教育機会・健康. 平成25年度学校保健研究報告会・学校保健講演会(高岡市教育委員会・高岡市学校保健会); 2014 Jan 30; 富山. (講演)
- 3) 関根道和. 富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防. 石川中央保健福祉センター平成25年度管内栄養士研修会; 2014 Feb 5; 金沢. (講演)
- 4) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2014 Apr 16; 富山. (講演)
- 5) 立瀬剛志. 子どもへつなぐ健康づくり. 大沢野小学校教育講演(大沢野小学校教育委員会); 2014 Feb 15; 富山. (講演)
- 6) 立瀬剛志. 地域で取り組む健康づくり. 富山市大沢野地区健康づくり推進会議; 2014 Mar 5; 富山. (講演)
- 7) 関根道和. 社会の健康づくり 10 の提言ー仕事・家庭・地域からソーシャルキャピタルまでー. 健康づくり担当者研修会 富山健康づくり財団; 2014 Mar 7; 富山. (講演)
- 8) 立瀬剛志. 舟橋村健康構想の現状と課題. 舟橋村健康構想2014年度第1回まちづくり部会; 2014 Apr 28; 富山. (講演)
- 9) 立瀬剛志. ソーシャルキャピタルと信頼ー地域の信頼を育む支援とはー. 舟橋村健康構想2014年度第2回まちづくり部会; 2014 May 12; 富山. (講演)
- 10) 立瀬剛志. 自分らしい生き方や生きがいを考えるー向老期の豊かさ研究「ケアウィル」よりー. 富山市民大学ー転ばぬ先の杖; 2014 May 19; 富山. (講演)
- 11) 立瀬剛志. 健康政策の枠組みと基本的アプローチー何のための健康かー. 舟橋村健康構想2014年度第3回まちづくり部会; 2014 May 25; 富山. (講演)
- 12) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2014 May 27; 富山. (講演)
- 13) 関根道和. 「眠育」でつくる子どもの学力と健康. 平成26年度幼稚園教育理解推進事業・平成26年度幼稚園・保育所(園)長運営管理研修会(熊本県・熊本県教育委員会); 2014 Jun 4; 熊本. (講演)
- 14) 関根道和. 成長期の睡眠と健康. 平成26年度ヤングヘルスセミナー(富山県砺波厚生センター). 砺波市立出町中学校; 2014 Jun 6; 富山. (講演)
- 15) 山田正明. 健康な目を保つために. 上市町立南加積小学校ー青少年健康づくり支援事業; 2014 Jun 6; 上市. (講演)
- 16) 山田正明. テレビやゲームが身体、生活習慣に与える影響. 上市町立陽南小学校ー青少年健康づくり支援事業; 2014 Jun 20; 上市. (講演)
- 17) 山田正明. 生活習慣に関すること(睡眠の大切さ). 砺波東部小学校ー富山県砺波厚生センターヤングヘルスセミナー事業; 2014 Jul 2; 上市. (講演)
- 18) 関根道和. 食育にもとづく親子の信頼形成と心身の健康づくりー文部科学省スーパー食育スクール事業ー. 高岡市立二塚小学校・富山県教育委員会; 2014 Jul 23; 富山. (講演)
- 19) 関根道和. 早寝・早起き・朝ごはんで生活習慣病予防. 新潟県三条市本成寺中学校区合同学校保健委員会講演会; 2014 Aug 8; 三条. (講演)
- 20) 関根道和. 子どもの生活習慣・教育機会・健康における格差問題を考えるー社会経済格差と地域格差ー. 平成26年度中部ブロック養護教諭部会代表者会兼富山県養護教諭会夏季研修会(富山県養護教諭会・富山県教育委員会・富山市教育委員会); 2014 Aug 19; 富山. (講演)
- 21) 関根道和. 「眠育」でつくる学力と健康. 平成26年度ヤングヘルスセミナー(富山県砺波厚生センター). 砺波市立庄川小学校; 2014 Sep 9; 砺波. (講演)
- 22) 立瀬剛志. 住民ひとりひとりが主役ー健康づくりは地域から. 富山市まちぐるみ健康づくり交流会(富山市南保健福祉センター); 2014 Sep 27; 富山. (講演)
- 23) 関根道和. 「早寝早起き朝ごはん」で健康増進・学力増進. 平成26年度五泉市小中学校PTA連絡協議会・五泉市学校保健会教育講演会; 2014 Oct 4; 五泉. (講演)

- 24) 立瀬剛志. みんなで描いてみよう!地域の健康づくり～目指そう元気なまちづくり～. 富山市まちぐるみ健康づくり交流会(富山市西保健福祉センター); 2014 Oct 18; 富山. (講演)
- 25) 立瀬剛志. 地域で取り組む健康づくり～大沢野・細入らしい、健活に向けて～. 富山市まちぐるみ健康づくり交流会(大沢野保健福祉センター); 2014 Oct 24; 富山. (講演)
- 26) 関根道和. 食育にもとづく親子の信頼関係と心身の健康づくり. 第59回富山県学校給食研究協議会(富山県教育委員会・富山県学校給食会); 2014 Nov 12; 富山. (講演)
- 27) 山田正明. つなげよう!元気な明日～睡眠の秘密を知ろう～. 黒部市立中央小学校; 2014 Nov 14; 黒部. (講演)
- 28) 山田正明. 生活習慣と病気の関係. 立山町立立山小学校; 2014 Nov 21; 立山. (講演)
- 29) 関根道和. アウトメディアと生活習慣. 文部科学省学校保健課題解決支援事業研修会講演(新潟県五泉市教育委員会); 2014 Dec 9; 五泉. (講演)
- 30) 立瀬剛志. 健康を支えあうまちづくりー地域のケア力を考えるー. 平成26年度健康づくりボランティアリーダー研修会(富山県中部厚生センター); 2014 Dec 16; 上市. (講演)
- 31) 立瀬剛志. 「老年よ、大志を抱け!人生の集大成楽しもう」. タイムリー福井(福井テレビ); 2014 Jul 26; 福井. (出演)
- 32) 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和. 高岡市内5小学校における生活習慣の現状ー文部科学省スーパー食育スクール事業ー. とやま小児保健. 富山県小児保健協会; Vol.12 2014 Nov; 富山.
- 33) 立瀬剛志, 藤森純子. ケアウィル支援要素の抽出と退職期の介入タイミングの検討(分担報告書). 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合(政策科学推進研究)研究事業「男性退職予定者を中心とした自律的社会支援実現に向けた「ケアウィル」モデルの実践と検証」平成25年度総括・分担研究報告書. 研究代表者:藤森純子; 2014 May: 15-24.
- 34) 立瀬剛志, 藤森純子. 社会的QOLを重視したケアウィルモデルと退職者世代のセカンドライフキャリア形成プログラムの検証. (分担報告書). 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合(政策科学推進研究)研究事業「男性退職予定者を中心とした自律的社会支援実現に向けた「ケアウィル」モデルの実践と検証」平成23-25年度総合研究報告書. 研究代表者:藤森純子; 2014 May: 15-30.
- 35) 立瀬剛志. 富山大学自殺対策のアウトリーチ「地域の支えあいネットワーク形成」事業. 富山大学学際交流会; 2014 Mar 10 (学長奨励賞).
- 36) 関根道和. 生活習慣病改善がテーマ 食育成果数字に 栄養教諭らが検証. 日本農業新聞; 2014 May 2. (新聞記事)
- 37) 関根道和. 教授就任ご挨拶. 俱進会たより. 横浜市立大学医学部同窓会. 2014; 143: 4-5. (依頼原稿)
- 38) 山田正明, 関根道和. うんちはどうしてつくられるの?～消化の仕組みとうんちをつくるための生活習慣～. ほけんニュース. 少年写真新聞社; No.359. 2014 Jan 8; 東京. (依頼原稿)
- 39) 山田正明, 関根道和. 子どもの生活習慣の負の連鎖を改善するー富山出生コホート研究から見えてくるもの. 健. 日本学校保健研修社; Vol.43. 2014 Nov 1; 大阪. (依頼原稿)